

自進 3 学年通信

第4号

平成30年12月14日発行
福岡県立久留米高等学校
校長 木本 和宏
第3学年主任 吉田 貞徳



「未来のニュートン」

3年1組担任 秋吉 瑠津子

5年前、英国ケンブリッジに勉強に行く機会がありました。イギリス英語は全く聞き取れないので、事前に少しだけイギリスのBBCニュースを聴いたりしましたが、焼け石に水。この年齢で、スーパーマーケットで、店員さんの袋があるかどうかの質問も聞き取れず、まともに買い物ができないという苦い経験をしました。美しいイギリスアクセントを聞き取れるようにもっと勉強しなければ、と気持ちを新たにしました。イギリス硬貨をじっと見ると、側面に”Standing on the shoulders of giants (巨人の肩の上に立つ)”という言葉が刻まれています。「この”giants (巨人)”は何を表しているのかな?」と思いながら過ごしていたある日、物理学の父と言われているアイザック・ニュートン(1642-1727)の有名なりんごの木を見に行き、次の言葉を発見しました。

どうして未来に通ずる偉大な業績をあげられたんですか?

私が他の誰よりも遠くの方を見ることができたとするならば、それは背の高い巨人の肩の上に立っていたからです。(“If I have seen further it is by standing on the shoulders of giants.”)



これを見て、「先人たちの積み重ねた発見・業績(巨人)の上に立っているからこそ、新たな発見がある」ということを意味しているのだと気づきました。後で分かったことですが、この言葉はイギリス人が好んで用いる言葉で、今年亡くなった車いすの物理学者として有名なスティーヴン・ホーキング(ケンブリッジ大)の著書もこの名前になっています。

創立110周年記念式典を無事に終えて、センター試験が迫る今日。クラスの生徒が書いた「センター試験まで41日」のコメントが非常に印象的で心に残りました。「運を掴むための方法: 他人との関係を見直す。自分のために時間を使ってくれている人に感謝する。(引用: TED Talks “How to Catch the Winds of Luck” Tina Seeling)」。それを見て、高校時代、毎朝4時に起きて苦手な数学と格闘している時に、受験勉強で心身ともに苦しい時に、そばで黙って一緒に勉強をしてくれた父の姿を思い出しました。3年生のみなさん、受験勉強で苦しい時期だと思いますが、支えてくれている友人、家族、久留米高校の先輩方、後輩の存在を思い出し、感謝することでポジティブに毎日を過ごすことは本当に大切です。なぜ勉強が必要なのか。大学に合格したら、それで終わり、ではありません。一隅を照らすという言葉がありますが、自分自身に興味のあること、得意なことで将来、人様に還元できること、貢献できることがないか。それを大学で探し、考えるために勉強しているのです。みなさん1人1人が、未来のニュートンです。自分で運を力強く掴んでくださいね。

「感謝の心で、日々前進」

3年4組担任 古賀伊彦

3年生の皆さん、3年生もいよいよ大詰めの時期を迎え、入学試験の 때가近づいてきました。この時期の皆さんに対して、プラス思考についてお話をしたいと思います。一日の時間はどの人に対しても平等に24時間です。しかし、一日をどのように過ごすか、どのように感じるかは人それぞれです。充実した一日だったと感じる人、辛い日だったと思う人、何となく一日が過ぎたと思う人など様々な感じ方があると思います。充実していると感じる人はプラス思考で考え行動しているのだと思います。「私は恵まれている。」「僕は皆に受け容れられている。」「自分にはできる。」など自分を肯定する思いが湧き上がってきているのだと思います。勉強において、プラス思考で取り組むと「自分は充実した時間を過ごせて楽しい。」とか「より成果が高まり成長できて嬉しい。」との思いが増えるのではないのでしょうか。

私たちは日々同じ事を繰り返す内に、つい「当たり前」「当然」という思いが強まってくることがないでしょうか。「家族と一緒に過ごせるのは当たり前」「毎日、衣食住があるのが当たり前」「安心して学校へ行けるのが当たり前」等々。でもこれは本当に当たりの事でしょうか。いろいろな人々の努力や善意の積み重ねの上に成り立っている事なのではないのでしょうか。「当たり前」と思っていたことが、実はそうではなくて、ありがたいことなのだと考えるようになると、自然と「感謝」の気持ちが湧いてきます。すると不思議に気持ちが元気になり、体に力が湧いてきます。するとプラス思考となってきて、一日が充実したものとなっていきます。

今、自分に何がないかを考えるより与えられているものに感謝しよう。



12月から3月までの学校行事

12月19日(水)～28日(金)
1月7日(月)～8日(火)
1月9日(水)
1月19日(土)～20日(日)
1月21日(月)
1月26日(土)～27日(日)
1月30日(水)
2月2日(土)
2月14日(木)～19日(火)
2月28日(木)
3月1日(金)

冬課外
冬課外
始業式
センター試験
センター試験自己採点
三者面談
マラソン大会(1, 2年生)
セサミ課題研究発表会(1, 2年生) 3年生は授業
学年末考査(1, 2年生)
卒業証書授与式予行、同窓会入会式
卒業証書授与式



センター試験まであと1ヶ月！各教科からのアドバイス

いよいよセンター試験まであと1カ月です。この1カ月の過ごし方で合否が決まります！この追い込み時期は何をすれば効果的なのか各教科の先生方から学習のアドバイスをもらっています！



国語科

古文・漢文は、たくさんの文章にふれ、基礎的な知識を固めるとともに、文脈に即した読みを心がけよう。演習→解きなおし→復習→定着→また演習。この日々の積み重ねしかありません。現代文は、本文との整合性があるか、設問の答えとして適切か、他の選択肢と比較して最も適切な解答かという3点で考えよう。そして何より、80分という時間の感覚を身につけ、最後まで粘り強く文章と向き合う集中力を養うこと。やはり最後は合格を勝ち取りたいという気魄がものを言うと思います。

数学科

まずは、センターを受けるために必要な公式はすべて頭に入っていますか？特に、三角関数などは公式が必須です。まずは公式の見直しを！その後は、センター実践問題を授業中にやっているはず。その出来なかったところを見直し、解き直しを徹底的におこなってください。特に、解説にあるPOINTはきちんと目を通すように。余裕がある人は、1日1題の問題集「重要問題演習」で分野別の復習をしっかりとこないましょう！

英語科

よくある質問より。Q1. 読解の力を伸ばすには？→これは必ずやってほしいことだが、読解系のテキストはパラグラフ毎に必ずその要旨を簡単にメモする癖をつけること。これは全訳をするより遥かに重要なことである。このことは東京大学でも京都大学でもセンター英語でも、同じである。長文の場合でも、まずパラグラフ毎に何が言いたいのかをメモして読み進め、全体像をつかむ訓練をしよう。これが最も読解の力を伸ばすコツである。Q2. 英語の力を伸ばすには？→英語の力を伸ばすには多読多聴多話しかない。量は質に転化する。☺

社会科

歴史的・地理的思考力をつけよう。知っているか、知らないかでは試験は解けません。ものごと・できごとのつながりを意識して学習をしましょう。具体的にはセンター試験過去問や実践問題を毎日解いて、間違った箇所をテキストで読み直すことが大事です。その際、必ず教科書や資料集、地図帳、統計資料等で「裏付け」を行いましょ。地歴の試験では図版、写真、地図問題は必出問題です。試験中に一度見たことのある資料や地図が出ることほど安心することはありません。時間を惜しまず実践してください。30日繰り返すと問題に慣れることができ、繰り返し出ているところがポイントだと分かるようになる。同じ問題を2度間違えないように頑張る。こうして目標点数に到達する。これは公民の学習でも同じです。

理科

物理・・・毎日、必ず勉強するようにしましょう。これから問題演習が増えていきます。まずは、本番を意識して緊張感を持って演習に取り組む。そして、解いたその日のうちにやり直し、解き直しをして、定着させていきましょう。これからの取り組みが最後の追い上げのかぎ。

化学・・・演習問題で間違ったところや分からなかったところを、その日のうちに復習して確実に自分のものにしてください。「無機携帯」と「有機携帯」フルに活用して、ポイントとなる知識を頭の中に叩き込んでください。理論分野は、苦手なところを質問などして、一つずつ克服していけば必ずマスターできます。たくさんの演習をとおして実践的に知識を増やしていきましょう。

生物・・・基礎用語をまだ覚えきれていない人、あやふやなまま演習問題に臨んでいる人はすぐに教科書や授業のノート、プリントを開いて正確な知識を身につけてください。知識が定着していないまま問題を解いても何も意味はありません。そして、問題を解いた後に必ず間違えたものはすぐにやり直しをし、誤解していた箇所を正す。解説をしっかりと読み、解き方を身につけてください。当たり前ですが、毎日、生物の勉強をすること。今はもうやるしかない。

先輩方の合格体験記を読もう！

先輩方の合格体験記を読みましたか？あなたたちへのメッセージが込められています。悩んでいるとき、目を通してみませんか？国公立大学に合格した先輩の体験記を1つ紹介をします。

「最後までやり抜く」

私は、この学校以外どこにも合格することができませんでした。後期試験で最後に1つだけ受けました。後期試験の合格発表の前日には予備校を探して浪人する気でいました。その状況で勝ち取った合格だったので最後まで頑張ってよかったとすごく嬉しかったです。しかもE判定での合格だったのでさらに嬉しかったです。私が題名にした「最後までやり抜く」はすごく大切なことです。前期で受かるのがもちろん良いけれど、もしダメだったときに最後まで諦めずにやり抜けば何が起こるか分からないのが後期試験です。だから、たとえ私立に受かっていたとしても、良い経験にもなるし、最後まで頑張ってみることが大切だと思います。もちろん、そのための気力や体力は必要となりますが、受けることは絶対にマイナスにはなりません。受験勉強は大変で嫌になることもあると思うけど、友達も同じ状況にたぶんあると思うし、先生方は生徒のことを本当に第一に思ってくれています。そして家族が一番心配してくれていると思うので、恩返しの意味も込めて一生懸命に頑張ってください。応援しています。

絶対合格!